



# ふかや

# 市議会だより

No.27  
2012.8.1



## 6月定例会

市民サービス、一歩前進 2～3

新議長決まる 5

市政のここが聞きたい 6～13

田野畑村の今 14

ボランティアさん紹介 16

### 上柴公民館

アリオ深谷3階「キララ上柴」  
『七夕飾りコンクール』会場にて  
(裏表紙参照)



調停の申立て

委員会での質疑

調停の申立てをする理由は。 3月に契約解除通知を行っていたが、改めて未納金の催告、9月28日までの退去義務について、公の場で話し合っていた。

議会での対応

- 9月議会 H23.9.12 決算特別委員会、市民産業分科会にて未納金について質疑集中
11.17 市民産業委員会にて市側の「対応方針」報告
12.22 市側へ申し入れ「省エネルギーモデル温室の土地建物賃貸料未収に関する意見」
12.28 市側と契約農事組合法人との交渉始まる
H24.2.17 2回目の交渉
2.24 契約法人から契約変更条件に対し明確な回答なし
3.1 市側から「最終的な意思確認」を求める
3.6 契約法人の回答は、誠実な契約履行が望めないものであった
3月議会 3.15 議員全員協議会にて市の方針を承認
6月議会 6.22 調停の開始を議会で議決

これまでの経緯 未納額が議会で課題に「省エネルギーモデル温室」は、国と県から補助金を受け、約5億5千万円かけ、平成11年に完成した市の施設である。同施設は、農事組合法人「深谷オードファーム」と賃貸契約を結んでいたが、平成18年度以降、市への賃貸料が滞っていることが、昨年9月、決算特別委員会、市民産業分科会で問題視された。滞納額は賃貸料、違約金を合わせ1億円を上回る。

新議長決まる

議会の初日6/4 議場にて投票

議長・副議長 就任あいさつ

市民の皆様には、常日頃から、市政の推進に特段のご理解とご協力を賜り、心より感謝を申し上げます。

このたび、平成24年深谷市議会第2回定例会におきまして、議員各位のご推挙により、議長・副議長の要職に就任いたしました。

まる思いであります。

皆様には、ご支援とご協力をお願いし、円滑な議会運営のために、中立公正を旨とし、微力ではございますが努力していきたいと存じます。

さて、地方分権社会の進展や厳しい社会経済情勢の中にあつて、地方自治体は、自ら政策を決定し、自らの責任のもとでまちづくりに取り組みることが求められております。

となつてきております。

深谷市議会といたしましては、議会と執行部がそれぞれの役割分担のもと、市民の意見を市政に反映させながら、調査・監視機能と政策立案機能を発揮し、深谷市の更なる発展と住民福祉の向上のために誠心誠意努めてまいりたいと考えております。

市民の皆様には、一層のご支援とご協力を心からお願い申し上げます。就任のあいさつといたします。

議長・副議長選挙 投票結果

- 議長 - 小森 秀夫 15票、三田部恒明 9票、須藤 邦男 1票
副議長 - 加藤 温子 13票、清水 修 2票、加藤 利江 2票、武井 伸一 1票、無 効 票 7票



副議長 加藤温子



議長 小森秀夫

新議長に インタビュー

趣味を教えてください

ソフトボールとスキーです。最近健康を意識しながらですけど(笑)

好きな人物は

織田信長です。彼の「決断力」が好きです

好きな言葉は

「まっすぐ」「真剣」

好きな農産物は

味来(とうもろこし)です(即答されました) 議会運営について思うところはあります

活発な議論が行える環境づくりに配慮していきます

議会改革は進めますか

もちろんです。前年度からの引き継ぎ事項を継続審議するとともに、これまで(3年間)の改革については一度検証しなければと思っていま



編集委員よりインタビューを受ける小森議長

「議会あれこれ」議会本会議を傍聴してみませんか?...傍聴を希望される方は市役所3階議会傍聴席までお越しください。次回の定例会の日程は最終ページのとおります。

# 市政のここが聞きたい

議会のホームページから、議会の映像がご覧いただけます。

## 質問項目一覧

(通告順)

- 吉田幸太郎
  - ①深谷市医師育成奨学金制度
  - ②深谷市民の安全安心確保には
- 清水健一
  - ①市民のために電子自治体構築を
  - ②行政窓口のワンストップサービス（パート2）
- 清水修
  - ①補助金の見直しについて
  - ②補助金等見直し方針について
- 加藤利江
  - ①広報ふかやの在り方について
  - ②太陽光発電の補助金について
  - ③公の場所のトイレ掃除について
  - ④仮称南下郷公園について
- 馬場茂
  - ①集会所運営事業について
  - ②農業振興について
  - ③消防無線のデジタル化について
- 柴崎重雄
  - ①企業誘致・留置
  - ②飲料水の安全性
  - ③パスポートセンター
- 清水睦
  - ①水道の給水停止について
  - ②市営グラウンドの減額制度について
  - ③高齢者のインフルエンザ予防接種の自己負担について
- 加藤温子
  - ①地域の歴史的人物の取り組みと地域活性化を
  - ②東日本大震災3.11の影響による避難家族の現状とその支援について
- 中矢寿子
  - ①通学路安全確保は大丈夫か？
  - ②防災力強化について
  - ③救急医療現場の見える化について
  - ④再生可能エネルギー普及への取り組みは？
- 村川徳浩
  - ①高品質堆肥製造施設について
  - ②みんなの力でがれき処理プロジェクトについて
- 石川克正
  - ①協働事業の方向付けと、その進め方は
- 高田博之
  - ①夏の節電の取組みを伺う
  - ②郷土の古い時代より引き継いで来た文化的行事、唄など記録しておくべきである
- 五間くみ子
  - ①いのちと健康を守る施策について
  - ②高齢者施策について
  - ③暑さ対策について
- 為谷剛
  - ①円滑な工事の進行を図る
  - ②深谷駅有効利用
- 永田勝彦
  - ①秩父鉄道戸野駅周辺環境整備
  - ②カーブミラー



深谷赤十字病院

## 深谷日赤病院の医師不足は解消できるのか

医師育成奨学生事業で支援していく

吉田幸太郎

**問** 今年度より始まった「医師奨学金貸与制度」の趣旨、目的は何か。

**答** 深谷赤十字病院の医師確保を支援するため、5年間で計10名の医師を育成する計画である。大学卒業後に深谷赤十字病院に10年間勤務することを義務付け、毎年2名の新入学生に入学金と年額360万円の奨学金を6年間貸与する制度である。

**問** 今年度の新入学生の詳細は。

**答** 都内の私立大学医学部に通う女性2名で、一人は深谷市在住、もう一人はさいたま市在住である。

**問** 「後期研修医研修資金貸与制度」の応募者はゼロであったが、その原因と今後の対策はどうするのか。

**答** 深谷赤十字病院で後期研修を受講する医師は少なく、また受講した医師の多くは出身大学や都内の病院での勤務を希望する傾向がある。今後、埼玉県の制度等を参考にしながら、深谷赤十字病院と連携、協議して改善を図る。

**問** 深谷市12地区で駐在所や交番がないのは、幡羅・南の2地区である。住民の安全を守るために、埼玉県警に対して設置を申請する考えはあるか。

**答** 埼玉県警に確認したところ、警察官の人数も限られており、当面は設置を見送らざるを得ない。

## 行政窓口のワンストップサービスはいつから実施するのか？

平成24年度中に実施できるよう取り組んでいる

清水健一

**問** ワンストップサービスについては平成21年12月議会でも質問しているが、いつから、どう変わるのか？

**答** 総合窓口を設けて、24年度中の実施を予定している。

**問** 他市では、住所氏名を一度書けば後はチェックを入れるだけで住民票・印鑑証明書・戸籍附票の取得ができるが、深谷市の場合は3枚に、それぞれ住所氏名を書かなければならず、市民に負担を強いているが改善するのか？

**答** 改善の方向で検討している。

**問** 基幹システム再構築により、何がどう変わったのか？

**答** 年々増え続け、高止まり感があつた、情報システム管理運営費は削減できたのか？

**問** 予算費ベースで平成22年度と比べ、4700万円程度の削減となっている。

**問** 地域活性化のための参加型双方向ポータルサイトの開設や障がい者の就業拡大への活用事例もあるが、今後、活用していくのか？

**答** 担当部署の方針を確認しながら検討していく。



市役所1階窓口

## 私立保育園の補助金の継続を

市単独補助金のこれまでどおりの継続は困難である

清水修

**問** 私立保育園は公立に比べて児童数の約7割を受け入れ、障害児も多く受け入れている。また、公立と私立では正規職員の賃金格差があるが、これは公立で働く保育者の賃金が高いからではなく、公立の保育者の賃金も十分でないうえに、私立で働く保育者の賃金が更に低く抑えられているからである。そのような状況の中で、私立保育園の補助金は国・県の制度の不足を補って子どもの成長発達を保障するために、長年の関係者や市の努力によって設け

られてきたものである。削減・廃止を見直し、これまでどおり補助金の継続を。 **答** 厳しい財政状況のもと、近隣市での取り組み状況を参考としながら、基本的には国及び県の補助基準に基づく補助金額とし、市単独補助金をこれまでどおり継続することは困難である。

**問** 平成15年の補助金見直しについては検討委員会を設置し、市民の声を反映させるべく場を設けているが、平成22年の見直しでは、なぜそのような場を設けなかったのか。また、平成15年は「公益に資する補助金等」の見直しの推進」となっているが、平成22年は「公益に資する」が抜けてしまっている。記述の違いについてどう思うか。

**答** 平成15年以後、補助金を取り巻く環境に特段の変化はないと考え、検討委員会を設置する必要はないと判断した。また、記述の違いについては、特に意図はないので理解願いたい。



Q 広報ふかやの在り方について

A 市政に対し理解を深めていただく目的で発行している

加藤 利江

問 あなたとまちと市政を結びます！とあるが詳しくこの意味の説明を。

答 「あなた」とは市民の皆さん、「まち」とは地域、「市政」とは市が実施している事業全体を示している。これら3つをつなぎ合わせることでできれば、と考えている。

問 広報ふかやを出版している目的は、市政に対し理解を深めていただく目的で発行している。

問 公園のトイレ清掃については、現在、受託業者による清掃業務を実施しており、柴崎公園を始め各公園トイレの清掃管理に努めている。

問 仮称南下郷公園について、場所・時期・規模について。

答 南下郷地域周辺の公園の整備計画については、北通り線の進捗状況を見ながら、今後も引き続き検討していく。

問 太陽光発電の補助金について、本年度分の補助金がすでに終わっ

た。



太陽光パネル

Q 市内13か所ある集会所の今後の活用方法は

A 自治会館に移行するか、他施設としての利用または解体する

馬場 茂

問 同和对策事業の終了に伴い、深谷市集会所運営事業は平成25年3月31日をもって廃止される。市内13か所ある集会所の今後の利用方法はどうか。

答 本年5月末日現在、自治会館としての利用希望が7か所、希望なしが5か所、検討中が1か所である。

問 自治会館へ移行した場合、維持管理費や市からの土地の貸付料が自治会負担となるが、負担軽減の考えはあるのか。

答 他の自治会館との公平性を期するため軽減の考えはない。

問 農業団体からの事務局廃止の理由は

市は深谷市園芸協会、深谷市花き園芸組合連絡協議会の事務局を平成26年より廃止する、その理由と今後の連携はどうなるのか。

答 平成23年3月に「深谷市外部団体事務の取扱基準」が示されたことや既に各団体が会長を中心として様々な活動を自主的に実施している。今後とも団体の自主性を尊重しながら、今まで



指令台全景

消防無線のデジタル化について

問 消防団への影響は

答 常備車両と同様に車両受令機に文字情報が伝達され、確実性が高まる。

問 変わらぬ事業を支援していく。

問 来年度実施予定の「全国花のまちづくり深谷大会」の内容は

答 花のまちづくりを進めている団体等の事例発表や基調講演、パネルディスカッション、現地視察会などを実施

Q 市の企業誘致・留置・撤退への対策はどうか

A 雇用や税収増など市の活性化のため、引き続き努力する

柴崎 重雄

問 キンカ堂に続き東芝のテレビ生産撤退と市内企業の事業縮小が問題となっている。地域経済への影響と現状は

また、企業誘致・留置対策はどうかしているのか。

答 東芝については、担当関係者より「深谷事業所の業務内容の変更と配置転換による雇用の維持」との説明があり、今後の推移を見守りたい。また、キンカ堂跡地利用については、土地所有者の情勢に注視していく。企業誘致対策として、「深谷市工場等立地促進制度」を設け、指定事業者には様々な奨励金が交付される。平成20年から23

年末までに企業誘致27件、設備投資額31.8億4千万円余りとなっている。

問 飲料水の安全性について

答 5月に県営水道に基準を超えるホルムアルデヒドが検出された。市の対応は

断水に向けて、広報活動による市民への節水要請・給水車の確保・ペトボトル水の配布準備など早急な対応をした。今後も安全な水の安定供給に



キララ深谷

Q 給水停止の中止を

A 公平性上やむを得ず行っている

清水 睦

問 水道事業などの公営企業は福祉の増進が目的である。水は命の源であり、生活には欠かすことができない。昨今問題になっている孤立死などの問題も給水停止は関わってくる可能性が高いと思われる。水道の給水停止は行わないようにすべきではないか。

答 給水停止を執行せず、料金を徴収できないことは事業の根幹にかかわることから公平性の観点からもやむを得ず給水停止を執行している。

問 市営グラウンドの減額制度の創設を

答 市民館の使用料は高齢者団体に対する減額措置があるがグラウンドゴルフなどのグラウンドの使用料は減額措置がない。市営グラウンドの使用料も高齢者団体に対して、減額制度を創設すべきではないか。

答 昨年10月から施設の使用料が見直しされた。市営グラウンド等の利用料金については公平性及び受益者負担の観点から価格設定を行っており、高齢者が利用する場合の減額制度の創設は考えていない。

高齢者のインフルエンザ予防接種の自己負担について

問 昨年から住民税非課税の方を除いてインフルエンザ予防接種の自己負担が千円かかるようになった。自己負担はなくすべきだと考えるが

答 昨年より自己負担を求めており、今後もこの制度を維持していく。



〈議会あれこれ〉一般質問ってなあに?…議案質疑とは別に議員が市の行政全般にわたり執行部側に対し自由に質問できるものです。6月議会では15人の議員が質問をしました。〉

〈一般質問記事の掲載は、通告順です。〉

Q

地域の歴史的人物・偉人の紹介と名所・旧跡めぐりへの取り組みは

A

パネル展示や企画展・広報で紹介。観光協会と連携、広域的に取り組む

加藤 温子

岡部六弥太忠澄・榛沢六郎成清の歴史的人物、柳田いちと娘、可つ良とさくらの姉妹への取り組みは。

11月3・4日の畠山重忠顕彰事業で、「畠山重忠と武蔵武士」と題し、遺物・パネルを展示。歌人柳田いちと書家の可つ良とさくらにおいては、掘り起こされた地域の文化人等と共に、教育委員会主催の企画展や時宜を捉えて広報などを通して知らせていきたい。



おかべ六弥太まつり

生産物の市を開き、名所・旧跡めぐりとともにPRの考えは。

岡部六弥太・榛沢六郎成清の見学コースを検討、ホームページやJR岡部駅案内板に反映広く紹介する。また、地域おこし、地域活性化と共に地域で盛り上げ、市は窓口になり、県北・県西と広域的な観光資源として取り組み、観光協会と連携しPRに協力していく。

東日本大震災避難支援の取り組み

避難者の現状と支援策は。福島県から34世帯・94名、岩手県1世帯・1名、宮城県1世帯・1名。県ホームページ農業関係支援活動の中で深谷市の窓口も紹介。新たな相談があれば対応する。避難者意見交換会を民間主催で秋に深谷市で開催予定。

震災特例法に基づき市民税・所得控除等の特例措置あり。軽自動車税、非課税の特例措置あり。固定資産税・都市計画税等の特例減額措置あり。国保税・後期高齢者医療の保険料も減免措置あり。詳細は担当課窓口へ。

Q

毎年数千万円の赤字を出す堆肥センターをどうするのか

A

廃止を含め解決策を慎重に検討する

村川 徳浩

深谷市内の畜産農家の軒数は。施設を利用している畜産農家の軒数は。

現在の市内の畜産農家は136軒、そのうち施設の利用農家は9軒で全体の6・6%である。

施設の土地の使用料はいくらで、誰から借りているのか。

年額329万8535円で施設の利用者の一人から借りている。

施設の利用者はある意味では受益者であり、高額の赤字を出しているのだから、土地使用料を減額してもらってはどうか。

建設当時は川本町全体の環境問題解決、畜産振興を目的として建設した経緯があるので、使用料金の価格設定は妥当だと思うが、現状を精査し問題解決のため鋭意検討する。



堆肥センター

廃止した場合にはどんな影響があると考えられるか。利用者は処理施設を所有していないため建設する費用と時間が必要になる。補助金の返還に2億5000万円、施設解体に3億円程度掛かる。

市民が納得する説明ができるのか。これまで2回の施設利用料値上げをしたが、利用料の見直しや個人での処理方法を含め、廃止も視野に入れて検討していく。

Q

救急医療現場の「見える化」で救急搬送の改善を!

A

新システム導入に向けた、県の動向を注視し検討したい

中矢 寿子

消防・医療の連携強化のために、タブレット型端末を配備し、救急搬送の改善を考えるべきではないか?

現在は、県が運用する広域医療システムを利用している。県では、タブレット型端末を利用した新システムの導入を検討している。進捗状況を注視し、活用について検討をしたい。

防災力強化について問う

防災訓練に避難所運営ゲーム「HUG」を導入してはどうか?

今年度予定している宿泊訓練の際、取り入れることを検討している。

通学路安全確保は大丈夫か?

今年行った安全点検で、改善が必要な箇所はどのくらいあったのか?

すい上がったのは265箇所、通学路の変更を5箇所行った。

教育現場と関係機関の協議の場、仮称「通学路安全協議会」を設置してはどうか?

協議会は設置していないが、関係機関との協議は行っている。



避難所運営ゲーム「HUG」

Q

協働事業はもっと進めていくべきではないのか

A

市の発展につなげられるよう善処していく

石川 克正

市が考える『協働事業』の定義付けはされているのか。

市民との協働活動については、自治会やボランティア団体による自主的な市民活動の活性化と、市民と地域及び行政が役割を分担し対等な関係でまちづくりを行う政策的な協働の二通りの視点から事業を推進している。現在策定中の総合振興計画、後期基本計画において、市民協働の考え方を明確にする必要があると考えている。

画にも位置づけていく。

そもそも協働事業は、それぞれの行政分野毎にその可能性を秘めている。具体的には環境・保健福祉・教育文化・都市生活基盤・生活安全・産業振興・コミュニティ交流の全てに協働の可能性がある。前期基本計画では、そのあたりの打ち出し方が弱い。後期基本計画で協働の考え方を明確にすることだが、もっと踏み込んだ考え方にならないのか。

協働の考え方でまちづくりを進めていくことは重要と考えている。公益の増進に寄与する市民の自主的な活動を支援していくとともに、後期基本計



総合振興計画

〈議会あれこれ〉議員も熱が入ります!...6月議会の一般質問は3日間。延べ70人の方が傍聴にいらつしやいました。

〈一般質問記事の掲載は、通告順です。〉

夏の節電の取り組みは

全庁的に取り組み昨年と同様に実施する

高田 博之

市内小・中学校での節電の教育と実践は。

東日本大震災後、経済活動や生活様式を見直すなかで、道徳の時間等に自分の生き方や生活を見直し、物を大切にすることを育んでいる。こうした取り組みで子供達の節電に対する意識が家庭や地域に波及し、市全体の対策として高い効果が上げられるよう取り組んでいく。

中学校は6月末、小学校は8月末にエアコン設置完了とのことだが、運



エアコン設置

用はどのようにするのか。

マニュアルを整備し期間は夏の3か月間。時間は授業中及び給食の間、温度は28度で既存の扇風機も活用する。電力使用量は20万キロワットアワーで昨年の実績のなかで捻出できるものと考えられる。

学校以外での深谷市の施設での節電結果は。

平成23年度夏の節電は本庁舎・教育庁舎・支所等で前年比31%から17%で、平均27%であった。

行事・唄など記録しておくべきだ

郷土の行事・唄などの記録は。

どのような行事や儀礼が市内で行われているのか調査していく。そのうえで、継承されている行事・儀礼と地域との結びつきや保存と記録の方法につき研究していく。

郷土芸能の保存と継承は。

無形文化財保存団体に後継者育成補助金を交付。小学校では体験学習を実施。映像記録事業は13件記録し、今後も継続していく。

未買収地が駅南口広場の発展に大きく影響している

建物の建て替え時等の機会をとらえて交渉を再開していく

ためがや 剛

駅南口広場の未買収地は何か問題があったのか？また、今後の計画はあるのか。

深谷駅橋上化事業に合わせて拡張するため、平成5年度から事業に着手し、平成8年度に完成した。未買収地については、数年にわたり、用地買収の交渉を進めてきたが、地権者からの理解が得られず契約に至らなかった。今後は建物の建て替え時等の機会をとらえて、交渉を再開していく。

深谷駅有効利用

駅舎の「旧観光協会事務室」の今後の計画は？

改札口南側のスペースについては、観光協会の移転以降、利用されていない状況が続いている。このスペースはJR東日本が所有している区分となっていることから、JR東日本による利活用の動向を見守ってきた。直近の動向についてJR東日本に確認したところ、「コンビニエンスストアの出店が予定されている」とのことである。



深谷駅

不育症対策、市の積極的な支援体制の強化を

国や県から発信しているものを活用し啓発に努める

五間くみ子

不育症とは、2回以上の流産、死産、あるいは、早期新生児死亡（生後1週間以内の赤ちゃんの死亡）がある場合をいう。患者数は全国で約140万人、毎年3万人が新たに発症していると考えられている。適切な治療により、約80%以上の出産が可能ともいわれており、周知を図ることが必要であると思うが。

検査や治療の周知を図り、社会的認知度の向上に努める。

厚労省のマニュアルに沿い、対応の体制をとっている。

経済的負担を軽減する補助金の創設をしていくべきと考えるが、見解は

保険適用の拡大が図られており、公費助成制度の導入予定はない。

介護支援ボランティア制度の導入を

本制度は、平成19年以降、国の介護支援交付金のメニューとなったことで全国的に広がっている。特に介護予防や生きがいの増進となるなどの効果があり、高齢者が心身ともに健康でい

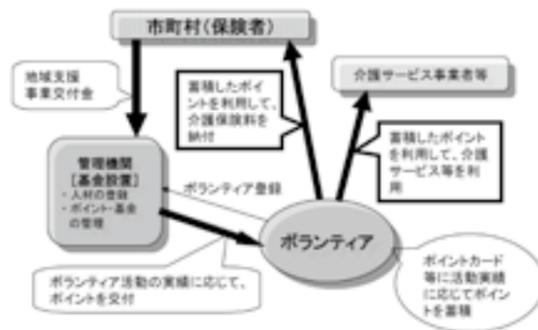
ることにつながっていると考えられる。本制度の導入の再考を。

前回の質問以降、保険者である大里広域市町村圏組合と協議しているが、具体化には至っていない。今後、実施自治体の成果等も注視しつつ、制度の導入に向け努めてまいりたい。

導入に向け努めてまいりたいとは、本制度を評価しているとの見解か。

成功例を集め、保険者の方に提案していききたい。

介護支援ボランティア活動実施スキームの一例



(厚生省のホームページより)

秩父鉄道が惹起した明戸駅周辺の大事件、市民は不安におののく

秩父鉄道に適正な管理指導を厳正に求めていく

ながた 勝彦

秩父鉄道が昭和49年頃、およそ30年以前買収、明戸駅周辺に広がる7ヘクタール超の農地に土砂等が堆積、起伏のある不毛地に樹木・雑草が生い茂る。農地法に抵触、農地法違反である。

現地は樹木・葎が認められ、近隣住民の不安は計り知れない。農地として適正管理がなされていない。秩父鉄道に対し、今後引き続き強く指導していく。

平成24年4月8日、繁茂した雑草等に火が放たれた。隣接・近接に酸素充填会社、LPガス充填会社が操業中、近隣住民は不安と恐怖におちいる。コンプライアンスの徹底もない企業に対しどんな指導を行うのか。

秩父鉄道に改善を図るべく指導し、図られない場合は継続的に管理指導を徹底する。

雑草等が繁茂している。そのため、ママシが生息し、既に多くの住民が咬まれ危険である。

秩父鉄道に対し、雑草等の除去、適正管理を指導する。また、生きものは、みだりに殺生してはならない。危

険を感じたら近付かない。水を掛ける等行い避ける。

明戸駅南側駐輪場整備について。駅前としての整備が不十分。舗装等を行い適正に管理する。



秩父鉄道明戸駅

カーブミラーについて

カーブミラーの角度定期的修正は。深谷市全体で4342基あり。適正な管理に努める。

# 田野畑村の今

行ってみなければわからない



7月4、5日深谷市議会議員クラブで友好都市の岩手県田野畑村へ行政視察に行ってきました。

今回の視察の目的は、東日本大震災で被災した田野畑村が、復興に向けてどのように動き始めているのか、その今を実際に見ることで現況を理解し、今後の深谷市の防災行政に反映させていくことです。

しかし、想像していた以上の現状を目の当たりにし声を失いました。写真は、三陸鉄道島越駅の駅舎跡です。ものの見事に根こそぎ波にさらわれていました。線路がかかっていたであろう場所には、コ



島越駅舎跡を視察する議員



被災前の島越駅舎

視察にはもう一つの目的がありました。田野畑わかめ復興プロジェクトのために議員と市職員で集めた支援金を届けることです。一口1万円、その7割が生産者への支援に充てられ、3割が復興後支援してくれた方にわかめとして還元されます。

田野畑わかめ復興プロジェクト  
実行委員会 事務局  
住所：〒028-8407  
岩手県下閉伊郡田野畑村田野畑 143-1  
田野畑村役場 水産復興室内  
電話番号：0194-34-2111  
ファックス番号：0194-34-2632



田野畑村の素晴らしい特産品をもっと知って欲しい、買って欲しいと語る深谷市から出向の職員新井さん(左)と中島さん

■埼玉県都市競艇組合議会議員に  
小森 秀夫  
埼玉県都市競艇組合議会議員田島信吉氏の辞職による選挙の結果、小森秀夫氏が同議員に当選しました。

### ●人事案件

■議会推薦の深谷市農業委員会委員に  
清水 修  
議会運営委員会加藤温子副委員長の辞任に伴い、新たに清水修氏が互選されました。

### ●議会推薦の深谷市農業委員会委員に

馬場 彌生

茂木美智子

丸山佐知子(再任)

河田富美子(再任)

議会推薦の深谷市農業委員会委員野田順子氏、田口夏子氏、丸山佐知子氏、河田富美子氏の任期が、平成24年7月19日をもって満了となり、新たな委員を推薦いたしました。

### ■人権擁護委員に

神代 淑子

神代 淑子

神代淑子氏の任期が平成24年9月30日に満了となるため、引き続き同氏を推薦することに異議ない旨回答しました。

## 国への意見書

### 「防災・減災ニューディール」による社会基盤再構築を求める意見書

高度経済成長期から道路や橋梁など社会資本の整備が急速に進み、当時建築されたものは現在、建築後50年を迎え老朽化が進んでいる。国交省の提言では、経年劣化により「劣化損傷が多発する危険」を指摘している。今後、首都直下型地震等の発生が懸念される中で、防災性の向上の観点からも、社会インフラの老朽化対策は急務の課題と言える。

一方、景気・雇用は長引くデフレと急激な円高によって極めて厳しい状況が続いており、そのために必要な政策が需要の創出である。そこで、社会インフラの再構築等が、雇用創出に必要な公共事業として潜在的需要が高くなっていると考えられる。

よって、国民と日本の国土を守り、安全安心な社会基盤を再構築するため、防災・減災対策としての公共事業を緊急かつ集中的に行い、経済の活性化や雇用創出に資する防災対策の実施を強く要請する。

していることは、議会の政策提案機能につながるものであり、高く評価します。

◎(中略)検討中の議会報告会にも期待します。

### 「検討・改善したい点」

◆決算情報については、財源データや監査委員の意見要旨主な財政指標などの記述をすするなどもう一歩進めたい。

◆議決結果の賛否公開はまだ不徹底です。

\*昨年の12月議会から各議員の賛否公開を始めました。

### 地方議会の専門誌で取り上げられました



全国市議会議長会・全国町村議会議長会共同編集の議員研修誌『地方議会人』5月号の記事「議会広報クリニック」で「深谷市議会だより」が編集評価をいただきました。

(抜粋にて紹介します)

「優れている点」  
◎議員が主体的に編集に当たり、議会改革にも積極的に取り組んでおられることが分かります。読みやすさを意識した編集技術も優れ、ハイグレードの市議会広報といえます。  
◎決算に対する議会の総括意見を執行部に決議の形で提示

## 市議会だよりニュース

### 他市の議会から視察を受けました

昨年度から『市議会だより』の編集方法を改良し、取り組んできました。今では、紙面構成や文章執筆、表紙、写真撮影に至るまで議員自ら作っています。専門的な議論が多い議会ですが『わかりやすく』『ひとりでも多くの方々にみていただきたい』ということを念頭に、編集作業を行っています。その取り組みについて、他市から行政視察を受けました。

### 受入状況

平成24年2月7日  
茨城県行方市議会  
平成24年5月17日  
茨城県鉾田市議会



### 再生可能エネルギーの導入促進に向けた環境整備を求める意見書

「電気事業者による再生可能エネルギー電気の調達に関する特別措置法」が施行され、これにより、再生可能エネルギーの固定価格買取制度が始まる。政府はこの3年間で集中的に利用拡大を図るとしているが、導入促進に向けた環境整備は不十分である。

導入にあたっての課題として、風力発電では送電網整備の強化、太陽光発電ではメガソーラー設置の円滑な設置が可能となるよう農地法の問題などの環境整備などが求められる。

よって再生可能エネルギーの導入促進と実効性ある買取制度に向け、十分な環境整備を図るよう強く要請する。

記

- 1 投資促進減税、省エネ減税などの拡充を実施すること。
- 2 買取価格等設定のルール化を図り、制度の予見可能性を高めること。
- 3 再生可能エネルギー発電事業に係る規制改革を実施すること。

ふかや市議会だより(第27号) 平成24年8月1日発行



### 9月定例会の日程のお知らせ

9月3日 ▶ 25日

平成24年9月定例会は次の日程で午前9時から開催する予定です。

9月 3日(月)	開会・議案説明
4日(火)	議案質疑・特別委員会
6日(木)	特別委員会
7日(金)	福祉文教委員会
10日(月)	環境都市委員会
11日(火)	総務委員会
12日(水)	市民産業委員会
18日(火)	特別委員会
19日(水)	一般質問
20日(木)	〃
21日(金)	〃
25日(火)	討論・採決・閉会

※日程は変更になる場合があります。詳しい内容は議会事務局(市役所3階)までお問い合わせください。  
TEL 048(574)6662  
FAX 048(574)6673

## 議会インター ネット配信

議会中の  
生中継・録画配信

## 編集委員会

委員	副委員長	委員長
石川克正	五間くみ子	加藤温子
高田修	清水博	高田修
田嶋均	為谷剛	中谷剛
三田博	中谷剛	三田博
村部浩	三田博	村部浩

# ボランティアさん紹介

ここでは市内で活動されているボランティアさんを紹介しています。

## 「深谷手話サークルねぎの会」 のみなさん



深谷手話サークルねぎの会会長  
柴崎保雄しばさきやすお

月曜日は  
午前10:00~  
火曜日は  
午後7:00~  
見学の問い合わせは  
社会福祉協議会へ

見学に来て  
ください。

「深谷手話サークルねぎの会」は、昭和51年に創立した県北で一番古い手話サークルで、深谷市聴覚障害福祉協会と共に歩む健聴者の集まりです。例会を中心に、手話を学び聴覚に障害のある方と交流を深めながら、暮らしやすい街をつくるために活動しています。また、深谷市手話通訳派遣事業や市主催の手話講習会に協力し、埼玉聴覚障害者福祉会の運営を支援するために、バザーや資源回収なども行っています。ぜひ見学に来てください。

### 【表紙の写真】

7月6日〜8日上柴公民館体育室で開催された七夕飾りコンクール。地元のお子さん、保護者の方が手にしているのは「ふるさと上柴まつり実行委員会」主催の広報ポスターです。「上柴を住みよいふるさとづくりしよう」と30年ほど前から始まった行事です。地域内の支え合いを醸成し、まちの一体感や人とのつながりを築きつつ、愛着と誇りあるふるさとを目指したい」という荻野実行委員長の言葉が印象的でした。8月4日開催とのこと。皆さんも足を運んでみてはいかがでしょうか。

## 編集後記

例年の如く、6月議会は議長選で幕を開け、新体制のもと議案審議を重ね、無事閉会となりました。7月4日には議員クラブとして、田野畑村視察に行き、復興の状況を確認してきました。自然の脅威を知る一方、立ち上がる住民の強さ、逞しさには感銘を受けました。行ってみなければわからない、と実感しました。いよいよ夏本番、皆様も熱中症対策に心掛け、元気にお過ごしください。

中矢 寿子

